

令和6年5月31日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称・・・グループホームこころ

サービス種類・・・認知症対応型共同生活介護

文書発送日・・・令和6年6月3日

出席者（発送先）

事業所	2人	利用者	人
利用者家族	人	地域代表者	1人
松江市職員	人	包括支援センター	1人
知見を有する者	人	その他 (陽恵苑職員)	2人

議題・課題

- 現状報告 別紙参照
- 活動報告 別紙参照
- 地域との関わりに関する事項（コロナ対応について） 別紙参照
- 医療連携に関する現状・・・ 別紙参照

○出席者コメント

民生委員・・・地域で民生委員に選ばれる方は自覚を持ってほしい。

担当が回ってきたから仕方なくやるという自覚の薄さが気になる。

福祉推進員（社協から委嘱）とも協力し合うのがベターと思う。

最近担当している地域で3日前に急死した方がいた。

グループホームでは日々の健康チェックをどうしているのか知りたい。

包括支援センター・・・認知症カフェなどに興味を持って頂けていて嬉しい。

協力し合ってやっていけたらと思います。

※事業所確認欄

☐ 活動報告についての評価を受けることができたか。	○
☐ 要望・助言等を受ける機会を設けたか。	○

地域密着型サービス 運営推進会議 グループホームこころ現状報告

令和 6 年度 第 1 回 会議

令和 6 年 5 月 31 日

入居者状況(令和 6 年 5 月 31 日)

Aユニット 男性 1 名 女性 8 名	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
	3 名	4 名	0 名	2 名	0 名
	平均介護度	2.11	平均年齢	90.44 歳	82~98 歳

Bユニット 男性 3 名 女性 6 名	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
	3 名	3 名	1 名	2 名	0 名
	平均介護度	2.22	平均年齢	86.77 歳	74~97 歳

○入退居について

- ・現在 両ユニット満床で運営しています。
- ・4/5 入居、4/25 退居、4/30 入居

○待機者、相談状況について

- ・待機申込者 3 件（在宅 3 名）
- ・空き状況の問合せ数 1 件
- ・6 月になったら改めて申込書を出される予定の家族様 1 件

○活動・行事について

- ・A ユニット お花見、こいのぼりイベント、すなはら珈琲
- ・B ユニット お花見、風船バレー、手芸、苑庭でのお茶会

4 月、武内神社までドライブをして桜を見に行きました。こころの苑庭に椅子と机を出して、桜餅と抹茶を提供してお茶会をしました。人員不足の為、お花見としての外出が出来なかったユニットもあります。しかし、それぞれのユニットで工夫してお花見イベントを楽しんでおられました。

○今後の行事予定

- ・A ユニット キック・ボーリング大会（6 月）…6/22 がボーリングの日になみ、ユニットの中でボールをけて、ペットボトルを倒すイベントを開催予定。
- ・B ユニット 和菓子の日：6/30（日）実施予定。

○職員活動状況

- ・施設内研修 現場職員対象 6/13、リーダー・管理者対象 6/28 実施予定
- ・外部研修 令和 6 年度認知症介護実践者研修 1 名参加予定

○利用者様の状況

- ・お一人お一人がお好きなように生活しているように見えて、お互いに意識しあって生活されています。それぞれの特性を理解して個別ケア・集団ケアをしています。

○医療連携について

- ・依然としてコロナが流行しているので、突発的な発熱時には協力医の先生、提携している訪問看護と共に医療連携を取っています。利用者様の状態変化については毎日様子を見ている介護職員の言葉をしっかりと取り入れ、少しでも「おかしいかも」と感じた場合には受診、往診等で対応しています。小さなことが、後々大きなことにならないように、事前に把握して対応していこうと思います。

- ・GW に入ってから数日で様子が変化した利用者様がおられ、紹介状にて日赤病院受診してアルツハイマー型認知症が進行していることが分かりました。日増しに周辺症状の悪化も認められたため、改めて青葉病院で精神的なケアを求めて受診する。内服薬を追加することで以前のような穏やかな本人様に戻っておられる様子。引き続き様子観察を行います。

○ご家族様とのかかわりについて

- ・面会については、事前予約をして頂き応接室で 15～30 分とさせて頂いています。県外の方には面会条件を設け、お伝え・お願い・確認を行っています。県外から中々帰ってこれないご家族様については、ケアプラン作成・プランの評価の為にご連絡をして近況報告を行っています。

※職員に少しでも体調不良が見受けられた場合には抗原検査を実施しています。

○ヒヤリハット・事故報告について

【事故報告】4 月計 1 件、5 月計 5 件

<転倒（すり落ち、しりもち）5 件>

- ・B ユニット：4/27 21 時、他入居者様の対応で居室横を通った際、「ドスン」と物音が聞こえたので訪室する。居室洗面所の前で座っていた。「トイレに行こうと思って、ふらついた」とのことであった。

原因、夕食後にトイレに行かずに臥床されたので、就寝前に思い立って行きたくなったものと思われる。

⇒夕食後の帰宅前にトイレの声かけをする。

- ・Aユニット：5/1 19時、ホール内で転倒あり。他入居者様の介助から戻ると、転倒されているところを発見する。訪問看護に連絡すると、痛みが強ければ、内服薬等に対応するよう指示あり。翌日整形外科受診すると、左大腿転子部骨折の診断で5/29まで入院されていた。

原因、他入居者様の対応で職員がホールからいなくなってしまう、一人で動かれたものと思われる。

⇒優先順位をつけて、利用者様の見守りを強化する。

- ・Bユニット：5/7 10：15 居室よりドスンと音がして、リビングにいた職員が訪室。尻を床につけた状態で座っていた。

原因、普段からセンサーマットを利用されている方ではあるが、親機のセンサーマットの電源が入っていなかった。

⇒勤務者同士で、センサーマットの確認を必ず行うようにする。

- ・Bユニット：5/9 16時 共用ホールの洗面所へ手洗いに行こうとされるところをふらつきそのまま転倒される。痛みの訴えあり、整形外科受診。左大腿骨頸部骨折と判明。翌日生協病院受診すると、保存療法を選択され、そのまま帰苑となる。

原因、ご本人様は普段からシルバーカーで歩行される方で、職員がホールにいるところを突然足元がふらついて転倒されたということで、ご本人様の下肢筋力の低下が事故につながったものと思われる。

⇒骨がくっついたところに再び動かれる危険性もあるので、随時、様子を確認して、再転倒のリスクを防いで行く。

- ・Aユニット：5/9 17：15 ホール横トイレより音がする。洗面所付近で転んでいるところを発見する。見るとズボンが上がりきっていなかった。

原因、ズボンを上げようとして、ふらついて転倒したものと思われる

⇒トイレは本来一人で行かれる方なので、今後はこの方もトイレに入られたら見守りを強化する必要がある。

転倒については、高齢になると骨折の可能性が高くなること、認知症の方は痛みもわかりにくい事があることも想定して、本人様の言葉だけを鵜呑みにせず早期に対応していくことが必要である。

また、今回骨折されたお二人は共に骨粗鬆症を患っておりました。骨粗鬆症の方は特に転倒に気を付けて対応していこうと思います。

<離設 1件>

- ・Bユニット：5/24 6:25 入居様が一人、施設から出られたことが分かる。ユニットのドアが少し空いていたので、施設内の捜索を行う。おられなかったので、夜勤職員が施設から出て捜索する。特別養護老人ホーム陽溜の郷横の自動車検査場まで歩かれていたようで、見つかったので共に帰苑する。

原因、離設の危険が高い人ではあるが、その日に限って、職員不在の際のユニットドアのストッパーがかかっていたいなかった。

⇒夜勤中は職員が一人しかおらず、見守りや施錠のありかたについて検討していく。

○町内でされている雪かきについて、DSとGHの間の道路をして頂けないか、料金相談したい。

デイサービス陽恵苑 管理者より依頼あり

○今後のところのとしての思い：グループ法人内に多種多様な事業所があり、様々な意見が取り入れられるのではないかと、今後は研修や委員会等も法人内で取り組んでいけたらと思っている。(法人内の風通しを良くする事、災害等の協力要請の際顔と名前を知っておくと良いという思惑)